

2012

JULY 7 vol. 32

東京成徳広報



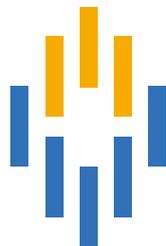
東京成徳大学深谷中学校〔認可手続中〕校舎完成イメージ



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	巻頭言「価値の転換期を乗り越えて」 理事長 木内 秀俊
P 4	学園の動き 役員・評議員の変更 学園人事 平成 24 年度事業計画 平成 23 年度事業の概要 平成 23 年度決算報告
P 8	東京成徳大学深谷中学校の開校にむけて（認可手続中）
P 10	ひと「活躍する卒業生」 ラッピングコーディネーター おもちゃコンサルタントマスター 武田真理恵さん（短大幼児教育科卒）
P 11	国際交流 社会交流
P 12	進路 進学・就職
P 14	TOPICS 大学院 八千代キャンパス 十条台キャンパス 短期大学 中高一貫部 高等部 深谷高校 幼稚園 第二幼稚園
P 22	クラブ活動 ニュース
P 24	学校説明会・お問い合わせ先



TOKYO SEITOKU

学園のシンボルマーク
「理想」と「若さ」を表す
ブルーの五本の柱は、五つの教育目標を
「活刀」と「勇気」を表した
イエローの三本の柱は、学生・生徒と
教職員、同窓生を象徴しています。
そして、八つの柱が一体となり、
東京成徳と学園に集う人々の
ヒューマニティーを
作り上げる姿を表現しています。

東京成徳大学深谷中学校（認可手続中）

平成 25 年に創立 50 周年を迎える東京成徳大学深谷高等学校は
埼玉県県北地域に東京成徳の歴史と伝統を築いてきました。
来年度、中学校開校という新たな一幕が上がります。



価値の転換期を乗りこなして

理事長 木内 秀俊

不信の時代

孔子の論語の中に「信なくば立たず」という言葉があります。これは政治にとつて軍事(国防)、衣食住(生活)、民衆の信頼の3つの中で一番大事なものは何かという問に対しての孔子の回答です。すなわち軍事・衣食住はもちろん大事なことであるが何よりも民衆の信頼がなければ政治は成り立たないと言っています。これは政治のみならず社会一般のあらゆる組織・ことごとについてとも言えることではないでしょうか。最近のわが国の状況を見ると「信」という基盤が欠けた中で様々なものが浮遊している状況に思えてなりません。「信」という基盤がない状態の中でいかに美辞麗句を散りばめようが相手の心には届きません。「信」が無い故に本当の納得を得られず、その結果として物事が前へ進まない状況がもたらされているのだと思います。

政治・経済の構造変化

それでは何故「信」の薄れて行った状況が生じたのでしょうか。私は第二次大戦後の米ソを軸とする東西冷戦の終結とそれによって生じた市場のグローバル化などの政治・経済の構造的な変化が一つの大きな要因であると思います。冷戦の終結までは東西共にイデオロギー(一種の信仰)を持って競争してきた訳ですが、政治・経済面で東側陣営が崩壊したことにより、政治・経済のイデオロギーの持つ一種の胡散臭さが人々の間で認識されてきたのではないのでしょうか。また経済面におけるグローバル市場の成立は、結果として物づくりの生産拠点を低賃金労働力のある発展途上国に移転させる結果となり、先進国での物づくり産業の空洞化をもたらしつつ行ったと思います。

そして冷戦終結後の1992年のアメリカ大統領選挙で当選した民主党クリントン候補の選挙ス

ローガン「It is the economy, stupid!」(経済が問題なのだ。愚か者)という言葉に端的に表されるように自由競争による経済面での充実(いわゆる平和の配当)がより強く求められるようになりました。このためそれまで東西2大陣営の対立の中で政治的・経済的にシステムとしてまた制度的に維持されてきたものが、その立脚の基盤を失うこととなりました。

価値観の動揺期

様々な意味で現在は価値観の整理・再構築が求められています。東日本大震災に伴う原子力発電所の事故は、いままで無意識化にあった原子力発電所が絶対安全であるという神話を打ち砕きました。生活面でも米の文化を主として成り立っているわが国においても、パンの購入額が米を上回ったと報じられています。そう思っただけで周りを見回してみると、少し前の時代に比べて価値観や生活実感があれも変わったこれも変わったと思いませんかでしょうか。まさに幕末明治期の黒船が襲来し、ちよんまげが散切りになって行った時代と表面的には似ているのかなと

いう気持ちが出てきます。この時代の変化に我々はしつかりと対応する必要がありますが、ただその流れに身を任せてばかりでは良いとは言えません。

我々の目指すもの

我々日本人は米作文化の基盤の上に、外来の文化を長い年月自分たちなりに取捨選択して取り入れてきました。今回の価値観の変化期にも最終的には賢明な対応をするものと思えますが、一方で米作文化という基盤が崩れている現在果たして日本人の感性と言われるものが維持できるかは予断を許さないところだと思います。私は文化というものは平たく言えば、民族の癖であると思います。一人一人が個性を持つように民族もある種の個性があると思います。我々はこの自分の個性を大事にしつつ、他の人々との共生を目指して行かなければなりません。私立学校の存立基盤は、この個性の尊重に基づく共生にあると考えています。日本人の良き感性を残しつつ、世界の人々と共生しうる教育を目指して学園は進みたいと思います。

役員・評議員の変更 学園人事 平成24年2月1-7月

平成24年5月26日に開催された学園理事会・評議員会において、退任等に伴い役員・評議員が一部変更され、左表の通り決定しました。

その結果、役員では、黒田定男理事が退任され、新たに渡部賢理事が選任されました。

理事・監事・評議員

役職	氏名	現職
理事長・評議員	木内 秀 俊	大学学長、短期大学学長
副理事長・評議員	木内 秀 樹	中学・高等学校長、幼稚園長
理事・評議員	大谷 幸 男	深谷高等学校長
理事・評議員	海保 博 之	大学副学長、応用心理学部長
理事・評議員	○渡 部 賢	大学十条台事務局長、短期大学事務局長
理事・評議員	竹内 利 行	群馬大学副学長
理事・評議員	中里 明 彦	成蹊大学名誉教授
理事・評議員	青柳 晴 久	赤城印刷株式会社代表取締役
監 事	大澤 健	前深谷高等学校長
監 事	黒崎 康 夫	株式会社黒崎インターナショナル代表取締役
評 議 員	福本 俊	短期大学幼児教育科長
評 議 員	黒田 定 男	大学八千代事務局長
評 議 員	加々美 健 一	第二幼稚園長
評 議 員	永井 聖 二	大学子ども学部長
評 議 員	石山 賢	法人事務局長
評 議 員	○染谷 一 子	中学・高等学校同窓会長
評 議 員	遠藤 洋 子	短期大学同窓会長
評 議 員	岡田 康 司	大学経営学部長
評 議 員	新井 邦二郎	大学院心理学研究科長
評 議 員	津島 泰 雄	歯科医師

○・・・新任者

〈役員就任〉

理事 渡部賢

平成21年に鹿児島大学理事・事務局長を退官後、大学十条台事務局長・短期大学事務局長として着任。平成21年5月から評議員を務められています。

〈役員退任〉

理事 黒田定男

平成13年に浜松医科大学事務局長を退官後、大学八千代事務局長として着任。同時に理事・評議員となる。退任後も引き続き評議員を務められます。

学園への寄附金に税額控除が適用されません。

本学園では、教育施設設備の拡充及び教育研究の維持向上を目的としてご寄附をお願いしています。

平成23年度税制改正において、一定の要件を満たした学校法人に対する寄附金について、これまでの所得控除に加え、新たに税額控除が導入され、平成23年1月1日以降のご寄附から適用されることとなりました。

た。(但し、「入学に関してする寄附金」は控除の対象にはなりません。) この新税制により、対象寄附額から2,000円を差し引いた金額の40%が、控除対象額となります。

本学園は、税額控除の対象として認定されていますので、新税制の導入を機に、皆さまから一層のご支援をいただきますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

寄附者		個人からの寄附	法人からの寄附
寄附の受手	国 税	【税額控除額】(平成23年度改正) (寄附金額 - 2千円) × 4.0% (所得税額の25%が限度額)	
	学校法人に直接の寄附	【所得控除額】 寄 附 金 額 - 2 千 円 (4.0%が上限) ☆	【損金算入限度額】 資本金 × 0.25% + 当該年度所得 × 5.0% × 1/2
	地方自治体の条例により指定された寄付金	【税額控除額】(平成23年度改正) (寄附金額 - 2千円) × 10% (総所得の30%が上限)	
日本私立学校振興・共済事業団を経由した寄附(受附者指定寄附金)		(☆に同じ)	寄附金全額の損金算入が可能

(※1) 租税特別措置法第26条の28の2に定める要件を満たす学校法人

(※2) 税額控除の対象法人及び特定公益増進法人の両方の証明を受けている法人に対して個人から寄附を行う場合、確定申告の際に、寄附者が税額控除制度と所得控除制度のいずれか一方を選択。

文部科学省ホームページより

平成24年度事業計画(抜粋)

部 門		事 業 内 容
大学	人文学部	<ul style="list-style-type: none"> ・「多様化する学生の就業力向上のためのカリキュラム改革」の実施準備 ・科学研究費補助金、企業助成等への積極的な応募 ・地方自治体審議会等への人材派遣 ・自治体等が主催する諸行事への学生ボランティア派遣
	応用心理学部	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の質を高めるFD・SD・自己点検の推進 ・海外協定校との交流協定の締結及び交流プログラムの実施 ・教員免許状更新講習の実施
	大学院	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け公開講座の開催 ・東日本大震災への対応
	子ども学部	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教員養成課程設置、入学定員増にむけて教育課程等の実施 ・「教育支援人材育成事業」の遂行 ・公開講座等の実施 ・教員免許状更新講習の実施
	経営学部	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の充実 ・学修意欲向上のための「懸賞論文コンテスト」「ビジネスアイデアコンテスト」の実施 ・授業アンケートを実施し、授業の質を向上
短期大学		<ul style="list-style-type: none"> ・実習・就職指導の充実のためのシステム整備 ・保育研修会、保育研究発表会、音楽研究発表会の充実 ・教員免許更新講習の実施
中学・高等学校		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力定着・伸長とそれによる進学実績の向上 ・「建学の精神」に基づく「自分深め学習」の推進 ・英語教育充実のためのネイティブスピーカーの専任教員採用 ・教育環境の整備（弓道場の耐震改築工事など）
深谷高等学校		<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた進路指導の推進 ・成績最上位層をさらに伸ばすプロジェクトチームの編成 ・教員研修・授業公開の実施、互見授業の実施、オープンスクールでの教育関係者の授業公開 ・中学校開設にともなう準備の推進と広報活動 ・生徒による授業評価及び自由記述内容の視点等をふまえた授業力の向上 ・中学校等における、より積極的な出前授業の実施 ・同窓会、PTA、地域住民一体となった教育事業
幼稚園		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象講演会等の実施 ・教員研修の実施
第二幼稚園		<ul style="list-style-type: none"> ・園内・園外研修の充実 ・英会話活動の定着 ・近隣小学校との連携 ・未就園児親子教室の導入
法人本部		<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理体制の見直し、効率化 ・広報の見直し ・中期事業計画のフォロー

平成23年度事業の概要

学園は創立86年となる平成23年度を終了し、1,687名の卒業生を送り出しました。また、平成24年4月には合計1,935名の入学者・入園者を迎え、平成24年度の学生・生徒・園児数(平成24年5月1日現在)は、5,716名となりました。

平成23年夏季には、東日本大震災復旧のため、十条台、中高一貫部、高等部の各施設に電力大口需要家に対する前年ピーク時比15%削減の電力使用制限が課せられ、また、省エネ推進(使用エネルギーの毎年1%削減)の観点からも、学園全体として省エネ・節電に取り組み、平成23年7～9月の電力使用量は前年比25%の削減を達成しました。

被災された学生への支援としては、入学金及び学費の減免措置を講じ、また、平成24年度入学者に対して同様の減免措置を講じています。

社会との交流事業としては、東京都23区内の企業との交流を図るため、平成24年度より学校法人として東京商工会議所の団体会員となることとし、所要の手続きを進めました。また、現在北区より賃

借中の旧清至中学校は、北区防災計画上の「避難所」であることから、平成24年4月より「避難所の開設等に関する協定書」を北区と締結することとしました。

高等教育部門では、子ども学部定員50名増員が認可され、学生募集を行ないました。その結果、入学定員140名を超える144名が入学しました。八千代キャンパスでは、通信サーバーなど情報機器の更新を行ない、学習環境を整備しました。

中等教育部門では、高等部第5体育館の耐震改築を行いました。また、深谷高校が創立50周年を迎える平成25年度を目的に深谷中学校(仮称)を設置すべく申請を行ないました。

幼児教育部門では、教職員の質向上や保護者ための子育て支援を行ない、第二幼稚園では保護者から要請の強い英会話活動を取り入れました。

なお、詳しくは東京成徳学園ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/report/index.html>

学校法人東京成徳学園 平成23年度決算

資金収支計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	3,982,211
手数料収入	127,893
寄付金収入	60,039
補助金収入	1,744,646
資産運用収入	13,787
資産売却収入	4,646
事業収入	14,307
雑収入	173,324
借入金等収入	800
前受金収入	972,177
その他の収入	473,994
資金収入調整勘定	△ 1,242,743
前年度繰越支払資金	2,486,124
収入の部合計	8,811,205
支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	3,758,545
教育研究経費支出	1,069,795
管理経費支出	307,237
借入金等利息支出	15,221
借入金等返済支出	279,370
施設関係支出	409,302
設備関係支出	120,941
資産運用支出	50,257
その他の支出	256,480
資金支出調整勘定	△ 186,532
次年度繰越支払資金	2,730,589
支出の部合計	8,811,205

消費収支計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで) (単位:千円)

消費収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金	3,982,211
手数料	127,893
寄付金	62,852
補助金	1,744,646
資産運用収入	13,288
資産売却差額	734
事業収入	14,307
雑収入	173,834
帰属収入合計	6,119,765
基本金組入額合計	△ 661,199
消費収入の部合計	5,458,566
消費支出の部	
科 目	金 額
人件費	3,734,424
教育研究経費	1,759,949
管理経費	380,317
借入金等利息	15,221
資産処分差額	24,469
徴収不能額	9,382
消費支出の部合計	5,923,762
当年度消費支出超過額	465,196
前年度繰越消費支出超過額	8,306,869
翌年度繰越消費支出超過額	8,772,065

貸借対照表

(平成24年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	43,735,427
有形固定資産	39,745,134
その他の固定資産	3,990,293
流動資産	3,299,891
資産の部合計	47,035,318
負債の部	
科 目	金 額
固定負債	574,646
流動負債	1,484,592
負債の部合計	2,059,238
基本金の部	
科 目	金 額
基本金	53,748,145
消費収支差額の部	
科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	8,772,064
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	47,035,318

東京成徳大学深谷中学校の開校にむけて（認可手続中）



中学校舎完成図

平成25年度に初めての中学生を迎える校舎は順調に建設工事が進んでいます。新しい学び舎は地上4階建てで1階には集会室を備え、2階に屋上広場を配し、深谷高校の木々の多い景観にもとけ込む落ち着いた外観となっています。

この新しい中学校の特色・魅力について大谷校長と富岡開設準備室長にお話を伺いました。

中学開校の趣旨と教育目標

東京成徳大学深谷中学校は、男女共学、入学定員は70名です。高校進級時もクラスはそのまま持ち上がりとなる6年間の完全中高一貫教育を実施します。

埼玉県北区では一校だけが中高一貫教育を行っていますが、もっと安心・安全な環境で確かな学力を身につけてもらえる一貫教育校が欲しいという声が多く寄せられています。その要請・期待に応えるために、伸び代がある子どもたちにとらに伸びる環境を提供したいと開校に踏み切りました。

グローバル化が進んでいる現在、変化に対応し国際社会で活躍するための実力と人間性を兼ね備えた

人材の育成が必要です。そのために本校では「実践的英語力の育成」を柱に、入学当初から高い意識の形成と生徒個々の特性に沿った指導で、志望校合格を目指します。

しかし、勉強一筋で部活動もせず、級友との円滑なコミュニケーションもとれないような生徒では将来、社会で活躍していくことは難しいと思います。豊かな人間性を養い、育てるために、人としての生き方・在り方などを校長が週1時間直接指導します。

お互いが思いやりの精神を持って、生徒同士の人間関係も自然の内に固い絆で結ばれます。6年間かけて育んだ強い絆によって「より学園らしい学園生活」を過ごし、生徒が人生において最高の思い出を作れるよう努めます。

実力を高める具体例

新入生にはオリエンテーション合宿で学び方の基本や、学習の習慣づけを指導します。まずは勉強に向かう気持ち作りが肝要であると考え、生徒のモチベーションを高め、活力ある日々を過ごさせるために保護者との連絡を密にし、生徒との面談も頻繁に実施してい

きます。また、総合学園の利点を生かし、大学の子ども学部や応用心理学部の専門家である教授陣の研究成果をフルに活用して、生徒の健全なメンタリテイの維持に効果的な指導を行います。

1. 週6日制、週35時間の授業

月・水・金は6時間まで、火・木は7時間まで、土は3時間まで授業を行います。中でも主要教科については、英数は毎日、国語は週5時間と時間を多く設定しているだけでなく、中学3年から順次高校段階の学習に入っていきます。

2. 技能と意欲を育む英語教育

中学段階での英語教育については、基礎期における充分な定着を目指して学習を展開します。習熟度別で行われる通常授業に加え、週2日は授業後にさらに英検対策に特化した講習を行います。また、学年が上がるとTOEICの受験も予定しており、その対策としてALTによる英会話の授業が用意されています。「読む」「書く」「話す」「聞く」の4技能からなる実践的英語力を身につけることができます。また中3でマレーシア・シン

ガポールへの修学旅行を予定しています。現地校との交流でおそらく生徒たちは英語の大切さとともに、もつと英語力を身につける必要があることを痛感することと思えます。これがその後の英語学習に対する強力なモチベーションになるはずです。

3. 理数系の授業

さらなる科学技術立国を目指す我が国の先頭にたつ人材育成のため、土台をしっかり作る理数教育を行います。中学校棟に中学生専用の理科室を配置し、観察・実験重視の教育内容を展開します。数学も英語と同様毎日授業を実施し、継続的な指導を徹底します。

4. コミュニケーション能力を育む新企画

国際社会で活躍できるためには、コミュニケーション能力が最重要となります。その力を身につけさせるため、校内というコミュニティだけでなく、地元社会の人々や広く海外の方々と交流を深めていく行事が計画されています。その中でも特徴的なプログラムが農業体験です。中学1年では深谷ねぎを題材にし

た地元農家での体験、さらに中学2年で県外、中学3年では海外での修学旅行の際に体験を行うなど、視野を広げコミュニケーション能力を高める仕組みが企画されています。これらの交流体験は、生徒を一回りも二回りも成長させてくれるものと確信しています。また、農業体験を通して世界の食糧問題などについて、生徒たちに深く考えさせ、議論することを促していきます。

コミュニケーションを大切にするとこの考え方は、建設中の新校舎にも反映されています。例えば、職員室のすぐ向かいには放課後の自習室にもなる集会室が設置され、自習していてもわからないところがあればすぐに先生に質問できます。また、新校舎入り口には「コミュニケーションラウンジ」が設けられ、先生と生徒、あるいは生徒同士のコミュニケーションが自然と起こるような空間デザインが施されています。

5. 部活動

原則は月・水・金に実施します。1期生は人数も高校生に比べ少ないので部活動の種類もある程度限られるでしょう。高校生と一緒に活動する場合でも活動時間は先に切

り上げることになります。生徒一人ひとりを大切に、生徒・保護者の信頼に応える指導

GARCH以上の大学に全員合格させることを目標に掲げ、少数の利点でもある一人ひとりへのきめ細やかで心のこもった暖かい教育を行います。本校の精鋭の教員たちによる指導に沿って継続的に学習していけば、国公立大や早慶上理も十分目指すことができます。

入試の予定・内容

平成25年1月に4回、2月に1回を予定しています。さいたま市と高崎市の入試も検討中です。入試は国算の2教科と国算理社の4教科の選択制です。中学受験生としての基礎・基本が身についているかを重視します。

高い目標に挑戦する意欲を持った生徒さんに受験していただき、生徒・保護者の皆様の期待に職員一丸となつて応えていきます。

ひと

『活躍する卒業生』

短期大学幼児教育科

(平成2年3月卒業)

MARIE FACTORY

ラッピングコーディネーター

おもちゃコンサルタントマスター



武田 真理恵さん

武田さん

は、幼児教育科を卒業後、自身が卒園された幼稚園の教諭になり、

夜間は上智モンテッソリ教員養成コースに学ぶなど教育者として

精神的に過ごしていました。しかし、

26歳の時に転職を迎え、以前より

関心のあったラッピングとおも

ちゃの資格を取得し、TVチャンピ

オンラッピング王選手権でチャン

ピオンになられるなど才能を発揮

し、現在は、幼児をはじめ高齢者に

わたるおもちゃコンサルタントや

ラッピングの講師として多彩な活

動をされています。

Q. 幼児教育を志された動機は

母親が自宅で保育ママ(家庭的保育事業)をしていたことから、身近に幼児がおり、自然と子どもの世話

をしたりしていました。また、モノを包むことが大好きで、3歳位の時

に兄の誕生日のプレゼントをティッシュペーパーできれいに包みとても喜ばれました。

何かモノを作っては人にプレゼントし、相手に喜ばれるのがとても

楽しみでした。そのような環境な

で「子どもが大好き」と「モノづく

りも好き」という気持ちから自然と

幼稚園教諭を目指していました。

進学相談会で印象があった短大

であり、また、ピアノ演奏の経験が

無かったため実技試験のない東京

成徳短期大学を受験し、入学するこ

とができました。

Q. 在学中の思い出は

電車通学が初めてで通勤ラッシュが本当に大変でした。

私は子どもの自発性を重視した

モンテッソリ教育の幼稚園を卒

園したので、当時一般的だった「み

んなが同じことをいっしょにやる」

一斉教育には戸惑もありましたが、

さまざまな教育について学ぶこと

ができました。なかでも「精神衛生」

や「造形」の授業はとても印象に

残っており、保育関係の授業や実習

と忙しくも充実した2年間でした。

Q. 独立して工房を設立され、現在のお仕事は

幼稚園教諭となり、はじめは3歳から5歳の縦割り編成のクラスで園児たちと接し、夜は草加から東京四谷まで通学し、深夜に帰宅というハードな2年間でした。

3年目からは少し余裕もできて、

楽しい体験の積み重ねでした。しか

し、子どもの環境が変わってきて、

子どもの変化を感じるようになり、

このままこの環境にいるよりも、他

のことも学んで自分を見直した方

がよいと思ひ26歳で退職し、おも

ちゃコンサルタントとラッピング

コーディネーターの資格取得を目

指すと同時にMARIE FACTORY

を設立し、工房を開きました。

資格を取得した人との繋がりが

ら仕事をいただくことができ、その

繋がりがから今があります。

現在はおもちゃとラッピングを

両輪として、保育者向けのセミナー

など子どもに係わることや、お店の

ラッピングのセミナーの講師など

をしています。その中でおもちゃも

ラッピングも、「その先に人があり、

人に喜んでもらうことだ」と伝えて

います。そして、常に現場で役立つ

新しいアイデアとその指導法を研

Q. 後輩へのメッセージ

街を歩いていても見聞する色々な事に「何故?」という疑問を持つことが大切だと思います。好奇心を持つと例えば「こういう動きのおもちゃはできないか」という問題意識が生まれ、その積み重ねが新しいヒラメキになります。

在学中は資格をはじめ、色々なことにも挑戦してください。



TVチャンピオンにてチャンピオンの栄冠に

国際交流

学園では、学生、生徒、園児の国際性の涵養のため様々なかたちで国際教育や海外との交流を実施しています。

大学・短期大学

大学・短期大学は海外大学と交流を深め現在では学術交流協定を締結する大学は12大学にのぼります。

なかでも、韓国白石大学校と梨花女子大学校とは、交換留学プログラムを実施しており、本学から学生を派遣し、留学生の受け入れも行っています。

また、先月、6月7日に八千代市と姉妹都市のアメリカ合衆国テキサス州タイラー市のテキサス大学タイラー校の方々が大学八千代キャンパスを訪問されました。



協定締結を見据え授業内容や施設を見学され、協議が重ねられました。

協定校以外にも学生の海外研修制度は充実しており、授業として、国際言語文化学科は1年生全員

校種	国	大学名	締結年
大学	アメリカ	コー大学 (アイオワ州)	2000年
		サンフランシスコ州立大学	2009年
	オーストラリア	ラトローブ大学	2000年
	中国	同濟大学	2001年
		蘇州科学技術学院大学	2012年
	韓国	漢陽大学校	2001年
		白石大学校	2007年
梨花女子大学校		2009年	
短大	オーストラリア	慶熙大学校	2011年
		オーストラリアン カソリック大学	1999年
	韓国	昌原文星大学	2001年
		白石文化大学	2011年

は『学外特別授業』でシンガポールや香港に行き外国語を学ぶ前に文化に触れる機会を設けています。観光文化学科では『フィールドワーク』にてヨーロッパやアジアの観光を実地で学びます。子ども学部では『子ども問題海外研修』にてアメリカのサンフランシスコとロサンゼルスを訪れ、現地大学にて海外の幼児教育について学んだり、現地教育施設を訪問します。授業以外にも福祉心理学科の社会福祉を見学する北欧見学研修や短期大学では今年イギリスの児童書の世界を訪ねた欧州研修旅行を行っています。

高校・深谷高校・中学

英語を母国語とする外国人教員による授業を実施しており、身近に外国人がいる環境にあります。昼休みなども生徒たちは教員を囲み、とても気さくに会話を楽しんでおり、海外や英語を身近なものにさせています。

東京の高校では、平成14年から修学旅行に中国（北京）を訪れ、「過去の中国を見て、現代中国を知り、未来の日中関係を考えよう」のテーマのもと活動し、深谷高校では修学旅行でオーストラリアを訪問しています。また、中高一貫部の中学3年3学期に希望者はニュージーランドへ留学することができ、一貫教育のメリットを生かした学校生活を過ごすことができます。

幼稚園・第二幼稚園

幼稚園では、外国人による英会話を従来より取り組んでいます。

第二幼稚園でも小学校での外国語授業の実施を受け平成23年度より英会話をはじめたところ保護者にも大変好評です。

社会交流

この度学園では、北区と避難所の開設等に関する協定を締結しました。貸借中の旧清至中学校が北区防災計画上の「避難所」に指定されていることから、大規模災害発生時の対応の確認の必要があり、本協定の締結に至りました。

このような地域自治体との災害時における協力は、深谷市と「災害時における東京成徳大学深谷高等学校の使用に関する覚書」の締結に続いてのことです。地域の災害発生時の協力関係を強固に築いています。



北区旧清至中学校、普段は部活動の場として生徒の声が響く

進路 進学・就職

東京成徳大学高校

平成23年度卒業生(544名)の内、進学者は494名、約91%となり、その内訳は、大学415名、短大35名、専門学校44名でした。在籍者の割合で、大学進学者が76.77%、浪人が8%という比率は、ここ3年間変動していません。一方、大学合格件数は年々増加し、今年は1172件となり、これは、一般入試受験者が在籍の60%以上となったことと、併願校数が全国平均(約6校)を大きく上回る約10校となっていることなどが大きな原因と言えます。

〈国立大学について〉

昨年度に比べ、合格者は若干減りましたが、名古屋大学の合格者が初めて出ました。また、今年は埼玉大学に7名の合格者が出るなど、地元の国立大学を目指す傾向が見られました。

〈私立大学について〉

いわゆる難関私立大学のうち早慶理は25名、MARCHは114名、文系難関・理系難関大学(学習院・成蹊・成城・武蔵・明治学院・國學院・獨協・北里・東邦・芝浦工業・東京農業・東京都市)は137名と、これらの大学への合格総数は昨年に比べ減少したものの、一昨年とほぼ同等の安定した状況でした。それに対し

て、日東駒専、大東亜帝国と言われる大学へは、滑り止めという意味もあつて受験者が急増した結果、345人もの合格者が出ています。

〈23年度の特徴と今後の課題〉

右に触れた国立(大東亜帝国)の大学の受験件数(合格件数)は、全受験件数(全合格件数)の約7割(約6割)になっています。このような本校の傾向は数年前からありましたが、昨年はより顕著になりました。マスコミ等で大学の二極化の証左と言われているこの傾向は、生徒一人ひとりに合った進路選択を考える時、大いに疑問に思える傾向でもありますので、私達はその「疑問」を念頭に置きながら、常に適切な進路指導に当たらねばならないと考えています。

東京成徳大学深谷高校

平成23年度の卒業生は、317名で、内90.5%にあたる287名(四大21、短大24、専門学校52)が進学しました。卒業生はそれぞれの個人に応じたコースの指導により、目標を定め、AO入試をはじめ、公募推薦や指定校推薦、一般入試によってそれぞれの進路を決定しました。

〈国立大学について〉

群馬県立女子大学や高崎経済大学など、前年に続き地元の国立大学の進学を目指す傾向が見受けられます。

〈私立大学について〉

難関私立大学は15件で、その他大学へ393件の合格がありました。なかでも4年制大学へ進学する者が昨年より増加しました。

放課後・土日曜講習

深谷高校では、放課後と土曜日もとより日曜日にも講習を開催しています。意欲の高い3年生が受講しており、進学という目標に向かって確かな学力を身につけるべく、生徒と教員一丸となって取り組んでいます。

夏期勉強合宿

特進・特進選抜の1・2年生を対

象に7月31日から8月3日の4日間、志賀高原で英語、数学、国語の主要科目を重点的に学習する夏期勉強合宿を実施します。

コース改編

平成25年入学生より特進選抜コース、特進コース、進学選抜コース、進学コース文系・理系・保育系とコースを改編します。高校生の将来の志望に応じてコース別に適切な指導を行ない、部活動と両立し、充実した学校生活を送れることを可能させ、将来の夢の実現のための進路の指導を実現します。

国公立大学(準大学含む)	30名
名古屋大学 東京医科歯科大学 筑波大学 千葉大学 埼玉大学 電気通信大学 広島大学 国際教養大学 防衛大学校 など	
難関私立大学	139名
早稲田大学 慶應義塾大学 東京理科大学 青山学院大学 法政大学 中央大学 明治大学 立教大学 など	
その他私立大学	987件
東京成徳大学	16名
東京成徳短期大学	13名
その他短期大学	25名

国公立大学	5件
群馬県立女子大学 釧路公立大学 高崎経済大学	
難関私立大学	15件
青山学院大学 法政大学 中央大学 立教大学 立命館大学 など	
その他私立大学	393件
東京成徳短期大学	1名
その他短期大学	27名

大学・短期大学

八千代キャンパス

進路支援状況

リーマンショック、東日本大震災、欧州の債務問題、円高の長期化などの影響で、日本経済は依然として先行きが不透明な状況ですが、一部の企業では過去最高益を記録するなど回復の兆しを見せており、全体の求人数も増加傾向にあります。しかしながら、新卒採用は当面、量より質を重視した厳選採用が続くと見られています。

また、日本経団連の倫理憲章の見直しで企業の広報活動時期が例年に比べ2か月遅れ、活動期間が短縮したことにより、今年度の就職活動は学生や企業に戸惑いが広がる中でスタートとなりました。

このような状況にもかかわらず、今年5月に入ってから、内定の報告が続々と寄せられるようになりました。安堵の表情を浮かべながら、厳しい就職活動を振り返る姿が大変印象的です。一方で、内定まであと一步のところまで来ている学生もあり、一部の学生にはやや焦りの表情や疲れが見受けられるものの、内定獲得を目指し精力的に活動を続けています。

キャリア支援担当では、現在も就職活動中の学生には随時個別面談を実施、これまでの活動状況や課題を共有し、一緒に解決策を考えるとともに、学生の適性にマッチした求人企業の紹介を行っています。

また、学内でのイベントも開催。学内合同企業説明会をはじめ、ハローワークや福祉人材センターなどの外部機関によるガイダンスを通じて、企業と学生の出会いの機会を多数提供しております。

就職活動もいよいよ折り返し地点。これから夏本番を迎えますが、学生にとってスーツ着用の就職活動は本当に辛いことと思います。私どもキャリア支援担当は、最後まで全力で学生の進路実現をサポートいたします。保護者の皆様におかれましては、引き続きお子様への温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

十条台キャンパス 子ども学部 の進路状況

子ども学部では、就職支援対策の一つとして3年生の前後期に就職支援プログラムを実施しています。特に3年後期に入ってから進路別に別れて、夫々実践的な内容のものを行いその後に来る就職活動に備えています。

備えています。

今春の第5回目の卒業生の就職内定率は93・6%とほぼ前年並みでした。一般企業向けが69・2%、教職（保育士、幼稚園教諭等）の分野が97・5%の内訳となっています。子ども学部では卒業生のうち80%前後が教職につくことを目指しており、毎年高い内定率を確保しています。なお、当学部の就職率（卒業生数のうち就職者総数の占める比率）は89・8%（前年度は86・6%）となりました。

短期大学 の進路状況

短期大学では1年の後期に集中して言語文化コミュニケーション科と幼児教育科別々に各種就職プログラムを実施しています。更に、夏休み期間中には、公務員試験、国内旅行業務取扱管理者試験の対策の為の特別講座を実施しています。

平成23年度の卒業生の就職活動は、特に一般企業向けの分野でかなり厳しい状況が続き、言語文化コミュニケーション科卒業生の就職内定率は60・5%となりました。就職先は、ホテル及び旅行会社を中心としたサービス業から製造業、卸売

小売業と様々です。一方の幼児教育科は卒業生の90%が教職（保育所、幼稚園等）を目指し、この分野の内定率は前年に続き100%を維持しました。この結果短期大学の就職率は83・7%（前年度85・9%）となりました。

このほか言コミ科3名、幼教科6名の合計9名が東京成徳大学子ども学部をはじめとした四年制大学に進学（編入）しました。



先輩による就職体験談

〔八千代キャンパス学生支援課
十条台キャンパス学生生活課〕

大学院

大学院でもオープンキャンパスを実施しています。



大学や短期大学では、受験生や保護者の方を招き、オープンキャンパスを実施しています。実は大学院でも同じように、オープンキャンパスを実施しています。これまでも「受験説明会」を実施してきましたが、昨年度から「オープンキャンパス」と名称を改め、入学試験のことに限らず、広く大学院を知ってもらおう場として、年に7回実施しています。今年度の第1回オープンキャンパスは、5月19日に実施しました。当日は、新井研究科長のあいさつに続き、根津准教授から全体説明として、学園全体の構成や特長、大学



院生の2年間の生活に沿った形で、大学院ではどんなことを学ぶのか、どのような実習があるのかの説明、そして入学試験についての解説がありました。全体説明の後には、個別相談と施設見学が行われ、大学院についてハード、ソフトの両面から、直接触れていただくことができました。と思います。また個別相談では、現役の大学院生や、既に臨床現場で活躍されている修了生の方々にも協力をいただき、大学院生活やその後の心理臨床家の仕事について、さま

ざまな相談に応えることができました。

参加いただいた方々には、進学を考えている大学生はもちろん、本大学院の特長である昼夜開講制を反映して、さまざまな年代層、経歴の方がいらっしやいました。当日回答いただいたアンケートをみると、
 ・担当の先生や、学生さんに詳しくお話が聞けてよかったです。
 ・実習的なことがしつかり組み込まれていると感じた。
 ・とても和やかな雰囲気です。
 ・とても和やかな雰囲気です。相談させてください。

と、たいへん好評をいただくことができました。

今年度のこれからの開催日程は、次の通りです。詳しくは、大学院事務室まで、お問い合わせください。

回	開催日 (いずれも14時開始)
第2回	6月16日(土)
第3回	7月21日(土)
第4回	8月18日(土)
第5回	10月13日(土)
第6回	11月10日(土)
第7回	12月8日(土)

臨床心理士資格試験結果

(財)日本臨床心理士認定協会が認定する、臨床心理士資格試験が平成23年10月から11月にかけて行われ、同年12月にその結果が発表されました。

臨床心理士資格は、現在、心理臨床やカウンセリングに関する資格の中でもっとも広く知られたもので、学校で働くスクールカウンセラーや、医療機関で心理職として働くには必須の資格となっています。

本大学院からは、平成23年3月に修士課程を修了した18名が受験し、11名が合格することができました。合格した方々は、この4月に臨床心理士の認定を受け、学校や医療、自治体といった、さまざまな臨床現場で活躍されています。今年度は残念ながら例年に比べ合格率がやや下がってしまいました。しかし、全国平均(平成23年度60.6%)より高く、現在の資格制度になってから、常に高い合格率を誇っています。今後はさらに合格率を上げるだけではなく、より質の高い心理臨床家の養成を目指していきたいと考えています。

八千代キャンパス 人文学部 / 応用心理学部

「トリプルMプロジェクト」が
スタートします！



My Teachers
My Students
My Friends

〈新企画スタート〉

八千代キャンパスでは今年度から、教育活動の新しい取り組みとして「トリプルMプロジェクト」をスタートさせることになりました。

「トリプルM」は、My Teachers, My Students, My Friends の3つのMの頭文字をとったものです。授業ではありません。課外活動と考えて下さい。しかし、通常の部活やサークル活動とは少し違います。通常の部活・サークル活動は、学生達が自発的に行うものです。教員は、顧問として見守る程度です。それに対して「トリプルM」では、先生方がインシアティブを發揮します。先生方が、自らの専門知識に基づいて、あるいは、研究とは別の得意技や隠れた才能を活かしてゼミやサークル

を起ち上げ、学生たちを集めて共に学んでいこうというものです。

4月のはじめに50数名の先生方に呼びかけました。なんと、わずか1ヶ月で29種類もの「Myゼミ★Myサークル」が起ち上げられました。さらに、「トリプルM」の活動の様子を紹介する「東京成徳大学トリプルMプロジェクトのブログ」
(<http://ameblo.jp/seitoku-mpproject/>)まで開設されました。

「Myゼミ★Myサークル」一覧

- ・みんなの傳統塾☆チームA
- ・TSU CPリポーターズ
- ・ブログで世間に情報を発信しよう
- ・歴史を歩く会
- ・日本文学☆文学散歩ゼミナール
- ・ヨーロッパ研究ゼミ
- ・アメリカ映画の名作
- ・フランス語会話 初歩の初歩
- ・ダレドンアリ (茶礼仲間)
- ・日本の茶道を英語や中国語で紹介しましょう
- ・ジョブ研究会
- ・福祉心理学科 国試支援講座
- ・The Circle for Overseas Study Trip
- ・箱庭体験ゼミ
- ・支援教育塾
- ・ザ・保育士資格
- ・王子スクールカウンセラー研究会 (OSC)
- ・スクールカウンセリング研究会
- ・映画を通してこころの世界を感じよう
- ・新聞を読もう！～スポーツとスポーツ選手を考える～
- ・テリ－教授の“数学”道場★数学はスポーツだ！★
- ・子どもと自然体験
- ・不登校の子どもたちと触れ合おう
- ・子育て支援・母親支援
- ・N響 1500
- ・ニューヨークタイムズのスポーツ欄を読む会
(The Reading Circle for Sport Page of The New York Times)
- ・中国文化研究会
- ・教職スタートアップ・プロジェクト
- ・王子リクリエーションサークル

〈中身拝見〉

■「みんなの傳統塾☆チームA」

(青柳隆志教授)

日本伝統文化学科の「伝統文化資料室」を拠点に、きもの、装束の着付けや、邦楽器のお稽古などを通じて「伝統」ライフを楽しむMyゼミ☆Myサークルです。通称は「みんなの傳」、「チームA」のAはアオヤギのAです。他学科の学生さんも歓迎します。月々金で毎日営業します。研究棟1階、伝統文化資料室をのぞいてみてください。

■「TSU CPリポーターズ」

(山口正寛助教・石村郁夫助教)



臨床心理 学科の各種 活動や教員 の研究活動 などについて、学生の 視点から調査し、大学 HP等で公開・報告していく。

意気込み：学生たちに大学の魅力を体験してもらうとともに、それを学外にも発信したい。

■「ブログで世間に情報を発信しよう」

(海保博之教授)

○自分ブログを作ろう ○自分の思いを発信しよう ○あなたの思いを共有してくれる仲間を増やそう ○自己表現の達人になろう ○ブログ歴30年の達人が秘伝の技を伝授します

準備は万端です。まもなくスタートします。参加は自由、学科や学年も問いません。興味のある分野を見つけて、一人でも多くの学生が参加してくれることを期待しています。

十条台キャンパス 経営学部 / こども学部

経営学部

評価され始めた地域連携活動

経営学部のトピックスでは、ここ何回か北区との共同研究による商店街調査を取り上げています。それは、北区役所との間で「東京都北区商店街にぎわい再生プロジェクト推進事業に関する協定書」を締結して実施されているもので、平成22年度は堀船地区の「梶原銀座商店街」、平成23年度は、滝野川地区の「滝野川市場通り商店街」と「田端駅通り商店街」の2つの商店街の調査を実施しました。その成果について、各商店街振興組合に説明を行い、各組合員から高い評価をいただき、それぞれの商店街が活性化に向けて自主的に動き出すきっかけになってきています。このような質の高い調



査活動は、地域の大学でしかできないものであり、その結果、今年度も王子地区の「東十条銀座商店街」と「東豊名商店街」の2つの商店街から調査依頼が来ており調査を実施する予定となっています。

いままで調査した3商店街と今回依頼があった2つの商店街は、いずれも古くからある北区の代表的な商店街でそれぞれ地域活性化にとって重要な拠点となっています。その意味では、これらの商店街の「にぎわい再生」は、北区の活性化にとっても重要な意味を持つっており、今回の調査への期待はさらに大きくなっています。

地域が直面する問題や課題はますます複雑かつ多様化しており、そのような問題解決に対して大学が主体的に関わっていく必要が出てきており、地域連携活動は、教育活動、研究活動と並んで、大学の重要な機能として位置づけられるようになってきています。その意味でも、経営学部では地域社会に開かれた大学を実現することを目的として、大学の所有している知的資産を活用した地域貢献を積極的に展開していきたいと考えています。

こども学部

「こども学」とは(リレー掲載⑫)

「こどもの世界を生きるこども」

教授 加藤理

児童文化とは何か―自明のことのように見えて、このテーマは、実は児童文化研究者にとって、追及すべき永遠の課題の一つです。

従来、児童文化活動や児童文化財は、向上的な形成や発達に資するものとしての側面だけが注目されてきました。自己形成に資するもの、として期待された児童文化は「良い」文化で、それとは無縁の文化は「悪い」文化として語られることもありました。

ただ、こうした児童文化観が大事なことを欠落させたものであることは、被災した子どもたちが「無意味」で「無駄」な文化活動に没頭している姿を見てると明白になります。東日本大震災下で災害ストレスを抱える子どもたちは、無心に絵を描き続けたり、ただひたすらグラウンドを駆け回ったり、無心になって地震ごっこなどのトラウマティック・プレイに没頭したりしていました。そうした姿を見てみると、震災ストレスの中で極度の緊張状態にさらされた

子どもたちが、そこから受けた多大なストレスを発散させるために、向上的で形成や発達に有用な「ののため」になることを期待された行為とは全く無縁の、一見、「無駄」で「無意味」な行為にただひたすら没頭していたことがわかります。

両生類は、水中と陸上の双方の世界の中で暮らす生き物です。陸上の生活だけでは干上がってしまう、生きていくことはできません。同様に、子どもたちも向上的な形成の面だけから文化を与えられたり、そうした「ののため」になることを期待された文化活動だけを行ったりしては、瑞々しい心が失われ、豊かな育ちにはならないのです。

子どもを教育と保護の対象として発見した近代以降の大人たちは、子どもたちの行為や活動に、常に「ののため」を期待し、有用性の原理に基づいて子どもたちの行動を判断しがちです。今、私たちに求められているのは、そうした観念から勇気を持って離れ、子どもたちが没頭している「無意味」で「無駄」な行為を見守るゆとりなのではないでしょうか。

言語文化「コミュニケーション科」

文化講演会

言語文化コミュニケーション科では、毎年各界で活躍している方々をお招きし、文化講演会・伝統芸能鑑賞会を開催しています。

今年度は、6月27日に東京工業大学の塩谷正俊先生（大学院理工学研究科、有機・高分子物質専攻）をお招きして、「進歩する繊維」というテーマでお話を伺いました。身近な繊維の話（植物の繊維、動物の繊維など）から、最先端のカーボン（繊維）の話、特に、カーボンを使った飛行機の製作の話など興味深く話を伺うことができました。



いわゆる「理系」の内容でしたが、学生も意識していなかった具体的な身近な繊維の話で興味深く聴くことができました。なお、この文化講演会は言語文化コミュニケーションⅢの授業の一環として行いました。

就職内定状況

昨今の厳しい就職状況のなかで、言語文化コミュニケーション科の2年生は年明け当初から積極的に就職活動を行っています。1年次の時から言語文化コミュニケーションⅢの授業を通して就職支援を行ってきており、昨年度以上に内定が決定しています。内定先として、ジーフット（シューズ専門店）、ボディワークホールディングス（リラクゼーション）、ニューコーポレーション（草津ナウリゾートホテル）、クロスカンパニー（アパレル）、トヨタレンタリース埼玉（自動車賃貸業）などがあります。進学を希望している学生もいるので今後も一人でも多くの学生が希望の進路に決まるよう教職員一丸となって支援していく所存です。

幼児教育科
被災地の園児のために



東日本大震災に對して、学生が自分たちで何かできる支援はないだろうかと考え、被災

地で困っていることを知る活動を始めました。（遠隔支援ネットワーク）その結果、被災地では粉塵に困惑しており、風邪も流行していることから、子ども用のマスクが必要だということになりました。

そこで小児用のマスク240枚に、刺しゅうやマーカーによる装飾をした「おしゃやかなマイマスク」をプレゼントすることにしました。使い捨てではなく、洗濯して何度も使用できるようにとの思いから、ガーゼのマスクを選択しました。参加した230人の学生は、それぞれがデザインを考案した「世界に一つだけのマスク」に、メッセージを添えてプレゼントしました。青森県や岩手県の保育園児から御礼の手紙とマスクを

つけた園児の写真が届き、学生は自分の小さな活動が遠く離れた被災地の子どもたちの役に立つこと（遠隔支援）の嬉しさを実感しました。学生は今後も手作り玩具やマスクを作って送ろうと意欲を燃やしています。



中居林保育園からお礼のお手紙 (青森県八戸市)



大楯保育園のみなさん (岩手県大楯町)

4月末に私学会館で開催された「短期大学フェア」で、この活動の様子を展示しました。大勢の高校生とその保護者や高校教諭の方々に、興味をもっていただけたようです。

中学1年(15期生)

河口湖オリエンテーション

4月5日に入学したばかりの161名は、緊張と不安と期待とで表情がまだまだ硬くクラスメイトともほとんど会話がないなか、9日〜11日の3日間、奥河口湖畔の足和田ホテルをベースにしたオリエンテーションに参加しました。6年間のスタートにあたり、①仲間を作ろう、②自分のことは自分でやろう、③学校のルールを知ろうが目標です。事前準備時間も短く大変でしたが、天候にもほぼ恵まれ、予定の行程をすべてこなすことが出来ました。

1日目 8時に学校に集合してバスで出発、座席は出席番号順に左は男子、右は女子が座りました。会話もあまり進みません。2時間ほどで富士山麓北側の創造の森デイキャンプ場に到着。

昼食は、いきなり飯盒炊爨で、自分で作らなければ食べることができません。各班で道具係、食材係、火起こし係などに分かれ飯盒で米を炊き、野菜を切り肉を炒めカレーライスを作ります。なんて厳しい学

校でしょう。今までの生活とまるで違います。いやでもまだ友達になってもいけない人と協力しなければうまくいきません。わがままをいっていると叱られてしまいます。だけど自分たちで作ったカレーライスの美味しいこと!!ご飯が少し焦げていようと、カレースープのよ



うであつても、みんなで初めて一緒に食べた、みんなと初めて一緒に作った食事はとても美味しそうでした。

午後にはホテルに到着し部屋も出席番号順に入室です。そして、すぐにホールで学校生活について研修です。真剣な眼差しで1回目の研修を終え、会話がはずみ緊張のほぐれた夕食の後、2回目の研修は校長講和の時間です。『自由に生きよう!』というテーマのお話で、緊張のなかにも「よし、がんばるんだ」と感じさせる表情で聞いていました。

自分たちで作ったカレーライスの美味しいこと!!

うです。



その後、心配しているだろう家族に絵手紙を書きました。絵手紙はタイミンがよく帰宅前に家に届いたよ

2日目 7時に朝礼、体操、近くの小山までの散策からスタートです。波もなく穏やかな湖面の奥河口湖沿いの散歩ですが、間を空けないようにという注意が効きすぎたのか、ほとんどジョギング状態でした。

午前中は青木ヶ原樹海の班ごとの散策でした。各班にネイチャーガイドが付き、樹海の成り立ちや、ヘルメットを被って入った洞窟のコウモリ穴についての説明を聞きながら、2時間ほどのコースを歩きました。溶岩の上にてきている樹海は、どんなに激しい雨が降ってもぬかるみになることはなく、とても歩きやすい道でした。昼食は、富士山が目の前に見える野鳥の森公園の広い芝生の上でお弁当を食べました。食後はみんな走り回り、いよいよ仲間が増えてきました。



午後は体育館に移動して「自分を深める学習」の最初の授業でもある『友達づくり』です。さまざま

ゲームの後、最後は全員で人間椅子での円を作ります。見事成功!161人全員が仲間と意識できたでしょうか。夜の最後の研修は、校歌の歌詞を覚え、クラスごとに発表、そして、今日までの振り返りをし、2日目が終わりました。

3日目 ホテルを出発した後は、富士吉田の民俗資料館と富士山レーダードーム館を見学し、昼食後、お土産を買い、学校に帰りました。昨年まで中学1年の宿泊行事は、中高一貫部起ち上げ以来、学校生活に慣れた夏休みに戸隠高原で行っており、中学2年の8月下旬に実施する4泊5日の戸隠校外学習の練習的措置づけの行事だったので。今年初めて授業や部活動が始まる前に実施して、6年間のスタートとしてふさわしく意義のある行事であると強く実感しました。

文武(部)両道のシンボル
第5体育館完成



8ヶ月間の工事の末、今年の3月28日に完成しました。

第5体育館では、体育の授業はもちろんの事、放課後の部活動では、男女バレーボール、バトントワリング部の活動が行われています。工事期間中、先にあげた3つの部は、外部の施設に出かけていって練習したり、屋外で基本トレーニングをしたり、時には他の部にお問い合わせをしてスペースを空けてもらって練習していました。また、近隣や本校と交流のある高校へ出向いて練習させてもらうことも少なくありませんでした。このように苦勞して8ヶ月間を乗り切ったからこそ、完成のときの生徒たちの喜びは格別でした。特に女子バレーボール部は怖いものでも見るかのように恐る恐る体育館に入り、真新しいコートを見るや否や大歓声をあげていました。その女子バレー部のキャプテンにインタビューした内容をここに紹介します。

Q. 第5体育館が出来上がった感想はいかがですか？

A. 工事中はどんなふうに来上がったのか楽しみでもあり、不安でもあ

りました。でも完成が近づくとつれ、そんな不安は吹っ飛び、嬉しさがこみ上げてきました。中に入ったときは、コートはもちろんの事、トイレや部室も広くてきれいでびっくりしました。同時に「頑張ろう」と闘志も湧いてきました。



Q. 工事中は練習が思うように出来ず苦勞したと聞きましたが...

A. はい。他の部活動の人たちに練習場所を何度も提供してもらって、迷惑をかけてしまいました。今までが練習環境に恵まれていたので、いざ第5体育館が使用できなくなるのと、こんなにも大変なのかと改めて感じました。それでも私はキャプテンなので、部員の士気が落ちないよう、「練習で大切なのは場所じゃないよ

く、私たちのやる気なんだよ！」と部員に言い続けてきました。みんなも苦しいながらもついてきてくれました。ですから、体育館が完成した時は涙が出るくらい嬉しかったです。ありがとうございました。

女子バレー部の嬉しさが伝わってきますね。バトントワリング、男子バレー部も同じように苦勞したので、体育館完成には大喜びしています。勿論、体育の授業でも生徒たちは楽しそうに利用しています。完成後には、近隣の高校やお世話になった高校のチームを招待して練習試合などを行っています。他校の先生方にも大変評判のよい体育館です。

本校は、教育方針として文武両道を掲げ、その中で人間的成長を遂げてほしいと願っています。それゆえとにかく部活動が盛んなので文武両道ならぬ**文武(部)両道**が盛んです。今回の改築工事で、まさに文武(部)両道の象徴であるかのように、第5体育館が新しく生まれ変わりました。生徒の皆さんには、苦勞しました。自分たちの納得のいく成績を収めてほしいと願っています。

深谷高校

携帯メール連絡システムの導入

東日本大震災以来、危機管理の一環として生徒の保護者への連絡方法について検討されて来ました。そして、この度5月から携帯電話のメール一斉配信を用いた「携帯メール連絡システム」を導入いたしました。

導入の目的は、従来の「クラス電話連絡網」を補助する手段として、連絡にかかる時間差を無くし、簡便に確実に伝達すること、また、災害時にインフラが打撃を受け電話回線が使えなくなった場合の有効な通信手段として活用していくことを目的としています。

利用事例は①電話連絡網で伝達する内容を同時に一斉配信、②災害時の緊急連絡等が考えられています。携帯電話各社に対応しており、登録情報は、本校個人情報保護ガイドラインに則り管理されています。

以上のように更なる安心・安全を目指して導入された「携帯メール連絡システム」が、早くも思わぬところでその力を発揮することになり、このシステムの確実性と信頼性を

確認することができました。

第46回体育祭

前日の6月5日は空をにらみながら体育祭の準備を実施し、会場も学校を出て深谷市内の仙元山陸上競技場で行うため、できれば雨の降らないことを期待していました。しかし、翌6日は本州付近を前線が通過するため、午前の空模様は今にも雨が降りそうな不安な天気となっていました。

体育祭延期時は通常の登校になりますが、このあいまいな天気時にはそれぞれの生徒の判断は迷います。その時力を発揮したのが、この度導入した携帯メール連絡システムです。午前5時に一報を報じると、全校生徒が混乱もなく登校し、一時限目に間に合うことができました。

7日に順延された体育祭ですが、絶対の体育祭日和に恵まれ、仙元山陸上競技場には高校生の元気な歓声が響きわたりました。多くの保護者が観戦する中、各クラス、おそろいのTシャツやポロシャツを着て、

優勝をめざして競技しました。

また、スペシャルゲストとして、深谷幼稚園の年長組の園児を招待して2、3年生保育進学コースの生徒と一緒に競技に参加しました。最終種目のH R 対抗リレーは大いに盛り上がりました。今年の体育祭でも、生徒の生き生きとした表情が見られました。

円陣を組んで

3年E組 土屋宥将

第46回体育祭が6月7日(木)に行われた。雨の影響で予定日より1日遅れとなったが、スローガンの「思いをつなげ成徳の絆」輝くチャンスが今ここに」にもあるように、一人ひとりがクラスのために頑

張る姿が見受けられた。自分達のクラスをはじめ他のクラスも競技が始まる前に全員で円陣を組んで一致団結していた。3年生にとっては一生で最後の体育祭。最高な思いでが残せたと思う。



幼稚園

子育てセミナー講演
子どもの力は無限大
―幼・小・中学校での―

子どものつばやきから―



中島諄子先生
幼稚園では
子育て支援の
一環として保
護者へのセミ
ナーを開催し
ています。

今回は前第二幼稚園長の中島諄子先生をお招きし、200人を超す保護者が先生の小・中学校そして幼稚園にわたる教員生活の中で得た子育てのコツを学ぶことができました。

大人が思うほど、子どもの気持ちには単純ではなく、一人ひとりの気持ちを汲み取り、向い合うことの大切さを説きました。子どもの成長には失敗を恐れずにチャレンジさせることが重要であり、失敗した時にフォローすることによりその経験を負い目にさせないのが大人の大事な役目だと述べられました。

中島先生の子どもに向き合ったときの失敗や成功の体験に基づくお話しは、説得力のあるものでした。なかでも、体育を専門とする中島先生ならではの生き生きとした

エピソードは大変楽しませてもらえ、子育ての難しさを考えさせられました。それ以上の喜びがあることを実感させてくれる内容でした。

七夕祭り

園児達は事前に学園プラネタリウムで幼稚園オリジナル「夏の星座」を鑑賞し、沢山の星座の話聞き無限に広がる星の世界に想像がふくらみ、この日を楽しみにしていました。

色とりどりの浴衣に身を包み、アリーナには年長組の作ったカップめん容器に染紙を貼り合わせた提灯と年中組のペットボトルを利用した風鈴を天井に飾り、年少組は織姫・彦星を壁に飾ったりしました。アリーナはお祭り気分満載の中、親子で元気に盆踊りや笹飾りも作りしました。その後の縁日では、人形釣りやサッカーゲーム等を楽しみ、子ども達は笑顔いっぱい



のひと時を過ごしました。

これからも一人ひとりの夢を大切にしていきたいと思えます。

第二幼稚園

子育てパパ応援プロジェクト

現在、さいたま市では「子育てパパ応援プロジェクト」(父親による幼稚園教諭体験を通して子どもの理解を深める事業)を推進しています。これを受け本幼稚園では、園児の父親であるAさんの協力を得て、去る5月2日に教諭体験をしていただきました。登園したAさんはさっそくエプロン姿になり、折り紙やブロック遊びなどをしてすぐ子どもたちと打ち解けました。その後は、グループ活動の相談に乗ったり紙芝居を読んだり抱っこをしてあげたりして、すっかり人気者になりました。保育終了後には「幼稚園の先生の大変さがよく分かりました。貴重な体験になりました」などと感想を述べていました。



全国童謡歌唱コンクール

去る5月21日、本園年長組の全園児50名が、「全国童謡コンクール」(主催：(社)日本童謡協会、テレビ朝日、後援：文化庁等)の「録音・録画会」に出場しました。

会場には、テレビ局のカメラマンやプロデューサーさらには童謡協会のスタッフなどが10人以上入りました。そんな中で、担任教師のピアノ伴奏にあわせて「おもちゃのチャチャチャ」「不思議なポケット」「手のひらを太陽に」などの童謡を元気よく歌いました。歌い終わると、「お友だちと歌うのが楽しかった」「歌っているところがカメラで撮られるのが初めてなので緊張した」などと話していました。



大学

バトミントンサークル 八千代市市民大会 3部……………女子ダブルス優勝

高校

サッカー部 (男子)

高校総体予選……………ベスト12

バスケットボール部 (女子)

高校総体予選……………3位 全国高等学校バスケットボール選手権大会出場

剣道部 (男子・女子)

東京都高等学校春季剣道大会 男子……………第3位 関東大会出場
女子……………ベスト8 関東大会出場

高校総体予選 女子団体……………第3位

ラクロス部

春季関東大会……………準優勝

陸上部

インターハイ関東予選 男子400mリレー……………4位 関東大会出場
女子やり投げ……………6位 関東大会出場

卓球部

インターハイ予選……………ベスト8

フットサル同好会

Honda Cup 全国大会地方予選 Bブロック……………関東ベスト4 関東決勝リーグ出場
高校生フットサル北沢Cup2012春……………ベスト4

深谷高校

野球部

春季埼玉県高等学校野球大会……………ベスト8

パワーリフティング部

全日本高等学校パワーリフティング選手権大会 埼玉予選会

83kg級……………1位
74kg級……………3位 5位
59kg級……………3位
男子団体戦……………3位

テニス部

深谷市民テニス (シングルス) 大会

男子Bクラス……………優勝
男子Cクラス……………3位
女子Bクラス……………3位

ニュース

伊藤華英さんオリンピックピック出場

東京成徳大学中学校・高等学校卒業の伊藤華英さん(セントラルスポーツ)が水泳自由形リレーメンバーとしてロンドンオリンピック代表に選出されました。母校では5月9日に伊藤さんを招待して壮行会を行ないました。オリンピックでの活躍を激励するとともに先輩から印象強いメッセージを頂きました。

高桑早生さんパラリンピック出場

広報27号にて義足のスプリンターとして紹介した東京成徳大学深谷高等学校卒業の高桑早生さん(慶應義塾大学)が陸上競技でロンドンパラリンピック日本代表に選出されました。100mや走り幅跳びでの活躍が期待されています。

バスケットボール女子世界予選に卒業生3名の活躍

最後の一枠争いで惜しくもカナダに敗れ、オリンピック出場は成りませんでした。代表選手として東京成徳大学中学校・高等学校卒業の吉田亜沙美さん(JXサンフラワーズ)、間宮佑圭さん(JXサンフラワーズ)、篠原恵さん(富士通レッドウェーブ)が活躍されました。

第3回 千葉、観光の魅力

高校生フォトコンテスト作品募集

大学人文学部観光文化学科

観光の視点から《千葉の魅力》を再発見していきましょう

高校生から見た《観光立県千葉》とは、どんなものでしょうか？

皆さんが撮った、千葉県の観光の魅力を伝える写真を募集します。

全国の高校生の皆さん、ふるって応募して下さい



第2回 優秀賞作品「羽ばたく」

◆応募規定

- ・千葉県の観光地・名所・自然、また千葉県で開催された各種イベントを撮影したものであること。
- ・平成23年8月1日以降に自分で撮影した、未発表のものであること。
- ・応募者は、平成24年現在、高校に

在籍していること。

・応募作品は一人3点まで。未加工で、サイズはA4あるいは四つ切りカラープリント。

・被写体に人物が写っている場合は、本人の承諾を得たものであること。

※応募作品は、公共の場に展示されたり印刷物・ウェブサイトに等に掲載されたりすることがあります。応募者はこれを承諾するものとします。

・〆切り7月31日(火) 必着

応募票等、その他詳細はホームページの募集要項をご覧ください。問い合わせ…フォトコンテスト係

047(488) 1000

手作り絵本コンクール 大学子ども学部

子ども学部は子どもについて幅広い角度から学び、子どもについて

のスペシャリストを育てる学部です。授業でも絵本制作やアニメなど

の子どもの文化を多角的に取り上げて

いる東京成徳大学子ども学部では、

昨年好評だった「手作り絵本コンクール」を、今年も高校生と在学生を対象に実施いたします。

みなさまの応募をお待ちしております。

・募集期間 9月1日(土)～10月15日(月) ※最終日消印有効

・募集部門

東京成徳大学の部

高校生の部

・入選・賞

各部門「学長賞」1作品、優秀賞・佳作など数点入賞作品には賞状及

び副賞(図書券) その他詳細はホームページの

募集要項をご覧ください。

お問い合わせ…学修

支援課

03(3909)

3500

平成24年度学園後援会総会開催

6月23日に学園後援会総会が開催され、冒頭で木内理事長が学園の新構想について説明した後、藪崎会長の議事進行のもと新副会長として染谷一子さんが選任されました。

閉会後の講演は大学経営学部長岡田康司教授が「ファッションと事業想像力」と題して講演。完成年度を迎えた経営学部をめざす「実学」の狙い「社会に真に役立つ人物とは、記憶力重視の偏差値ではなく、社会的偏差値を持った人」を育てたいと説明を。その具体例「ハワイに学ぶ7つの事業想像力」、なんと日本のハワイのことで皆さんびっくり、日本文化の強さである「クールジャパン」、世界一の技術力をもつ日本の中小企業の具体例などを交えながら日本の事業創造・開発力の源を解り易く解説され、会場を魅了されました。



日本の底力を語る経営学部長岡田康司教授

オープンキャンパス・学校説明会のご案内

東京成徳大学 大学院
7/21 ⊕ 8/18 ⊕ 10/13 ⊕ 11/10 ⊕ 12/8 ⊕
八千代キャンパス [人文学部・応用心理学部]
7/22 ⊖ 8/5 ⊖・26 ⊖ 9/30 ⊖ 11/18 ⊖
十条台キャンパス [子ども学部・経営学部・短期大学]
7/15 ⊖・29 ⊖ 8/26 ⊖ 9/30 ⊖ 11/18 ⊖
東京成徳大学高等学校
予約必要…7/29 ⊖ 8/25 ⊕ 9/9 ⊖
予約不要…10/14 ⊖ 11/3 ⊕・18 ⊖ 12/1 ⊕
東京成徳大学中学校
9/16 ⊖ 10/8 要予約 ⊕ ⊖・23 ⊖ 11/11 ⊖ 12/9 ⊖
1/7 ⊖・19 ⊕
東京成徳大学深谷高等学校
オープンスクール (要予約) …7/21 ⊖・29 ⊖
学校説明会…9/21 ⊕ ⊕ 10/14 ⊖ 11/11 ⊖
東京成徳大学深谷中学校 (認可手続中)
7/17 ⊖ 9/11 ⊖ 10/14 ⊖・31 ⊖ 11/11 ⊖・26 ⊖
12/2 ⊖
東京成徳短期大学附属幼稚園
予約必要…9/1 ⊕・29 ⊕
東京成徳短期大学附属第二幼稚園
9/12 ⊖



オープンキャンパス・学校説明会の詳細は各校のホームページをご覧ください。

学校法人 **東京成徳学園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp>

東京成徳大学大学院	http://www.tsu.ac.jp/gra	電話 03-3927-4116
東京成徳大学	http://www.tsu.ac.jp PC http://www.tsu-mobile.com 携帯	
人文学部 応用心理学部	八千代キャンパス入試・広報センター	電話 047-488-1000 (直通)
子ども学部 経営学部	十条台キャンパス入学課	電話 03-3908-4566 (直通)
東京成徳短期大学	http://www.tsc.ac.jp PC http://www.tsc-mobile.jp 携帯	
	十条台キャンパス入学課	電話 03-3908-4566 (直通)
東京成徳大学中学・高等学校		
中高一貫部	http://www.tokyoseitoku.jp/js	電話 03-3911-2786
高等部	http://www.tokyoseitoku.jp/hs	電話 03-3911-5196
東京成徳大学深谷高等学校	http://www.tsfh.jp	電話 048-571-1303
東京成徳短期大学附属幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind	電話 03-3911-6337
東京成徳短期大学附属第二幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind	電話 048-854-2151
東京成徳スイミングスクール		電話 03-3914-2383

学校法人 東京成徳学園 〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9 TEL 03-3911-2411 FAX 03-3911-6500
法人本部企画調査室 東京成徳広報 第32号 平成24年7月発行